

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490
FAX (078) 361-4539
http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

2014年1月 謹賀新年

新しい掟を受けとめて

ふる たず あたら し
～故きを温ねて、新しきを知る～

この古い掟とは、あなたがたが既に聞いたことのある言葉です。しかし、わたしは新しい掟として書いています。(Iヨハネ 2:7-8)

司祭 ミカエル 小南 晃

新年おめでとうございます。

「1年の計は元旦にあり」と申します。皆様それぞれに、仕事、学業、生活において「今年こそは」という新たな抱負を抱いておられることと思います。新年のすがすがしさは、この新たな抱負や希望によってもたらされると言ってもよいのではないのでしょうか。

そして私たちの教会生活、信仰生活においても、さらに新たなビジョンを与えられ、共に喜びと希望をもって歩み出したいと思います。

古い掟と新しい掟

信仰生活の刷新、また教会活動における新しい宣教ビジョンという、ともすればそこに斬新なアイデア、画期的な企画を求めがちです。勿論、それは大切なことです。

しかし時にそうした斬新さを求めることが、一種の現実逃避となっていることもあるのではないのでしょうか。

一方、見慣れて、聞きなれた事柄、また地味で忍耐を要し、目に見える変化に乏しい働きについては、無駄な労力、効果に乏しい活動と判断し

がちです。しかし、心や魂に関わることは目に見えないものであり、もし破棄されると大切なものを失うことになりかねません。

冒頭にヨハネの手紙I 2章7節以下の聖句を引用しました。ここで古い掟と言われているものは、「互いに愛し合いなさい」という兄弟愛、また隣人愛の掟です。これはこの手紙の著者が新たに教えるまでもなく、既に主イエス・キリストが説いていた掟であり、さらに言えば聖書全体が教えている戒めでもあります。その古くからあるこの掟を、著者は何故、「新しい掟として書く」というのでしょうか？

それは兄弟愛、隣人愛の大切さについては、もう十分聞いてわかっていると思いがちだからです。時にそれはもう「耳にたこが出来るぐらい」聞いたと、食傷気味に思うかも知れません。しかしそのようにして聞く限り、実は全くもって聞けていないのです。

「互いに愛し合いなさい」という掟は、ここで今、初めて聞かされる、言わば新たなチャレンジと

して受けとめた時にこそ、正しく聞いたことになるのです。

温故知新

ところで年初にこの聖句を覚えようとしているのは、まずは最も大切な「兄弟愛、隣人愛の掟」を思い起こすと同時に、その他にも信仰生活、教会活動において、古くから聞きなれた教えや見慣れた活動について、今一度、新しく受け取り直して、意識的に実践すべきものはないかを振り返りたいからです。

例えば一例ですが、礼拝堂のドアに「聖堂では沈黙を守りましょう」と、日に焼けて黄色くなった張り紙が貼ってありますが、礼拝前の黙想の時間は保たれているのでしょうか？

今年は、一昨年の宣教協議会から始まった、2016年の神戸教区宣教140年に向けての宣教の取り組みの中間地点となります。7月21日(月)に2回目の教区宣教協議会が開催されます。

「温故知新—故きを温ねて、新しきを知る—」という論語の言葉もありますが、神戸昇天教会の宣教活動や教会生活について、見過ごしているものはないか、かつての活動に参考に出来るものはないかなどを共に考え、言わば古くからある掟を新たな掟として受け取り直して、実践して参りましょう。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)